

クロス工法

鋼製束の組み立て方

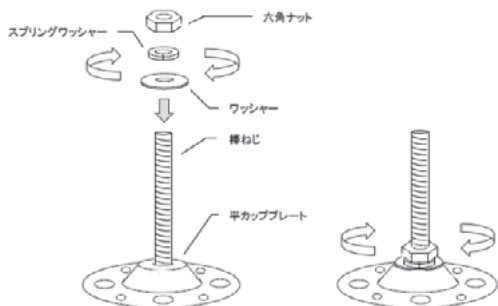
内容物一式

- ステンレス製棒ねじ(寸切) φ12×285mm 1本
- 平カッププレート 2枚
- ワッシャー 2個
- スプリングワッシャー 2個
- 六角ナット 2個

※各部材は組み立て前の状態での発送となります。

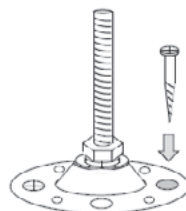
手順①

平カップに棒ねじ(寸切)を通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、六角ナットの順にはめ込み、六角ナットをレンチで強く締めます。



手順②

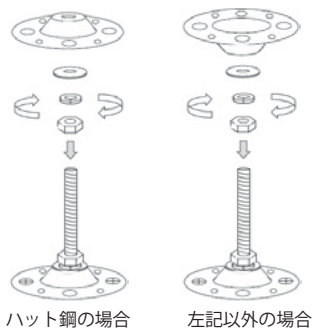
設置場所にコンクリートビスで固定します。
 ※ビス用穴は大小各4ヶ所ありますが、ビス固定は2~4ヶ所で構いません。
 ※ビス止めの前に「エポキシ変成シリコーン樹脂系」の接着剤で束を固定することを推奨いたします。



手順③

六角ナット、スプリングワッシャー、ワッシャー、平カッププレートの順にはめ込みます。

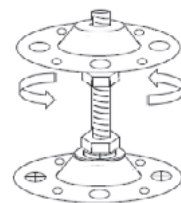
※根太が鋼製ハット鋼では無い場合は平カップの向きを反対にします。



手順④

高さを調整し、六角ナットをレンチで強く締めて完成です。

※スプリングワッシャーが平らになるまできつく六角ナットを締め上げて下さい。
 ※棒ねじ(寸切)が長い場合はカットしてご使用下さい。
 H=約260mm~285mmの場合、棒ねじのカット不要
 H=約260mm未満の場合、棒ねじのカット必要



H=285以上の鋼製束もご用意しております。

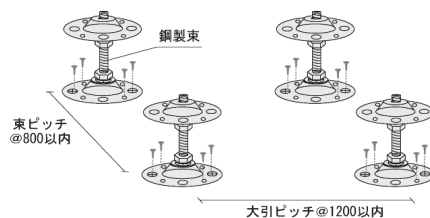
デッキの組み立て方

① 鋼製束の設置

鋼製束をコンクリートビスで固定します。

大引と平行方向は800mm以内、
 直交方向は1200mm以内の間隔で設置します。

※ビス止め前に接着剤
 (エポキシ変成シリコーン樹脂系)で鋼製束を固定することを推奨いたします。

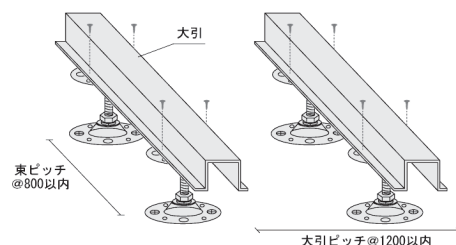
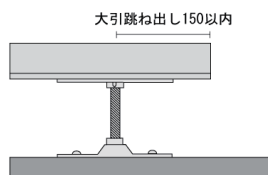


② 大引の設置

大引をナベドリルビスで鋼製束に固定します。

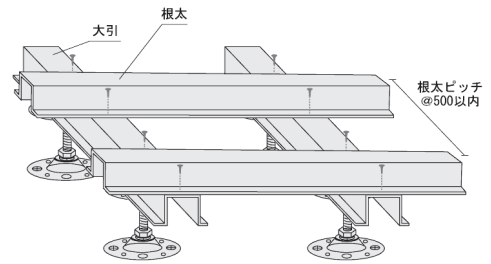
その際、大引の跳ね出しは鋼製束の中心から150mm以内です。

また、建物が近い場合は大引端部を建物から7~10mm程度離します。



③ 根太の設置

根太をナベドリルビスで大引に固定します。
根太の取付間隔は**500mm**以内です。
大引同様、根太端部は建物から**7~10mm**程度
離して設置します。

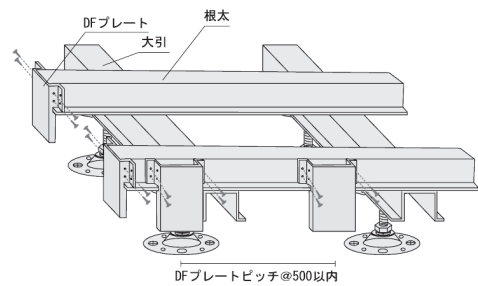


④ DFプレートの設置

幕板を取り付ける予定の面にDFプレートを
ナベドリルビスで固定します。

根太に対し幕板が直交する面は各根太の端部に、平行する面は
500mm以内の間隔で設置します。

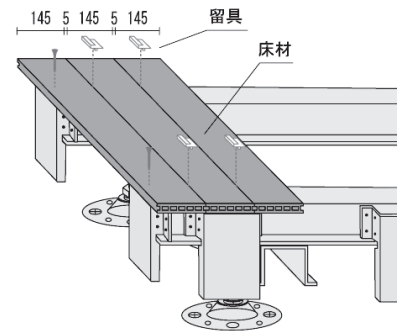
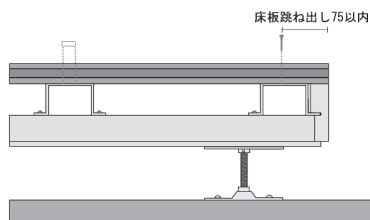
※DFプレートは大引ではなく根太に
取り付けます。



⑤ 床板の設置

床板をサラドリルビスと留具で根太に固定します。
デッキの貼り始め、貼り終わりはビス止め、それ以外は目地部に
留具を使用します。
また、床板の跳ね出しは根太中心から**75mm**以内とします。

※床板は短手・長手方向共に**5mm**の間隔を開けて設置す
る必要があります。



⑤ 幕板の設置

幕板をサラドリルビスでDFプレートに
固定して施工完了です。

DFプレート1ヶ所につき1列ビス止めします。
(間隔**500mm**以内)

